# みやぎ県議会だより

令和元年
6月定例会特集
第130号

編集・発行　宮城県議会広報委員会
TEL 022(211)3592
〒980-8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号


## 発　議＜1件＞

○賀詞

## 意見書＜2件＞

○東日本大震災からの復興を完遂し次なる巨大災害に対応した防災体制の強化を求める意見書
○地方財政の充実・強化を求める意見書

## 可決・承認・同意した知事提出議案＜34件＞

○各種使用料及び手数料並びに各種利用料金の基準額等の改定に関する条例
○民生委員の定数を定める条例の一部を改正する条例
○漁港管理条例の一部を改正する条例
○工事委託契約の締結について（一般県道釜谷大須雄勝線伊勢畑道路改築工事）
○工事請負契約の締結について（宮城県松島自然の家本館等災害復旧工事）
○専決処分の承認を求めることについて（平成30年度宮城県一般会計補正予算）
○人事委員会委員の選任につき同意を求めることについて　ほか

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

議決した議案等

6月定例会の本会議

第368回宮城県議会（6月定例会）は6月17日から7月3日まで17日間の会期で開かれた。新元号となって最初の定例会は、10月に予定される消費増税に伴う施設の手数料改定などに関する条例案など、33議案を原案通り可決した。また、辞任した佐藤光樹前議長の後任に、相沢光哉議員を選出した。一般質問は東日本大震災の被災者支援や復興事業、観光客の誘致、一次産業の振興などで活発な質疑が行われた。

# 心のケア拡充求める

## 復興期間後の財源も議論

東日本大震災の復興関連では、被災者の心のケアの拡充や、2020年度までの国の復興・創生期間後の財源確保などを求める意見が相次いだ。

震災で精神的な悩みを抱える被災者の拠点施設「みやぎ心のケアセンター」（仙台市）の運営に関し、議員は「震災後に精神疾患患者が増加傾向にある。心のケアセンターの相談体制の強化を求める」と提言した。

6月の政府要望で、復興相と対談して財源措置を要望した知事は「復興相からはしっかり対応していくという話があった。復興・創生期間後の心のケアに関し、関係機関と心のケアセンターの在り方などで協議を始めており、必要な相談体制の構築に努めたい」と答弁した。

「復興・創生期間終了後の財源確保策について、どのように考えているか」との質問があった。国は3月に示した「復興の基本方針」で復興庁の後継組織を設けることを明記しており、知事は「復興・創生期間後も地域の実情や復興の進捗状況などを踏まえた支援が続くように、国に働き掛けていく」と述べた。

県に配分されている復興交付金の効果促進事業の予算執行を求める意見があり、総務部長は「昨年末時点で、18億円余りの使途が未定となっている。信号機や交通標識の整備、震災・復興の記録の収集などの事業に活用できるよう、復興庁と協議を進めている」と説明した。

「被災した住宅の再建支援制度に関し、沿岸市町の対応が異なっているため、県独自の制度を検討・創設するべきでは」との提言に、総務部長は「全国知事会で、被災者生活再建支援制度の支給対象を半壊まで拡大することなどを国に提言しており、その動向を注視したい」と述べた。

在宅被災者の実態や、住まいの状況調査について、「これまでは市町任せだったと思われるが、どうか」との質問もあった。震災復興・企画部長は「これまで沿岸被災15市町と在宅被災者検討会議を開催してきた。今後も被災市町との意見交換や情報共有を進める」と答えた。

### 震災遺構活用し防災力の向上を

震災の教訓を伝承する活動に関して、議員は「震災遺構を活用して、防災への取り組みを高める必要性がある。県が『震災遺構防災サミット』を実施することが必要だ」と提言した。

知事は、国や被災した県などで構成する「震災伝承ネットワーク協議会」の取り組みに触れ、「協議会で震災伝承施設のネットワーク化などが進められている。協議会の動きと連携しながら、フォーラムの開催などの取り組みを検討したい」と答弁した。

震災の伝承や地域防災力の向上などを目指した「地震津波防災未来センター（仮称）」の設置を求める意見もあった。知事は「国へは東日本大震災地震津波防災施設を最大被災地の宮城に整備するよう要望してきた。国からはいまだに意向は示されていないが、引き続き施設整備の有効性を訴えたい」と強調した。

宮城オルレ、潮風トレイル

# 総合観光戦略を提案

観光振興に関し、議員からは誘客拡大に向けた取り組みを求める質疑があった。

昨年10月に開設した韓国版トレッキングコース「宮城オルレ」の「気仙沼・唐桑コース」（気仙沼市）と、「奥松島コース」（東松島市）の利用者が、5月末で延べ1万人を突破しており、議員は「宮城オルレの1周年記念イベントを開催するとともに、誘客に向け、県が旗振り役を務めるべきでは」と質問。知事は「宮城オルレの知名度を高め、さらなる誘客に努める。両市と連携し1周年記念イベントの成功に向けて取り組む」と答えた。

「大崎市のオルレコースの開設時期はいつか」との議員の質問に、知事は「一部条件付きでコースが認定され、最後の詰めを進めている。9月下旬のオープンを目指したい」と説明した。

6月には、東北の太平洋沿岸を歩く環境省のプロジェクト「みちのく潮風トレイル」が全線開通した。「潮風トレイルのPRは必要。自治体などと連携してトレイルの総合観光戦略を求める」との意見に、知事は「宮城オルレや他の体験型観光資源とともに発信することが重要。トレイルを新たな観光コンテンツとして磨き上げ、周遊滞在型観光につながるよう取り組みたい」と述べた。

「県産品の新たな市場拡大など、ベトナムの可能性はどうか」と、海外に視野を向けた取り組みを求める意見もあった。知事は「これまでの販路開拓支援により、ベトナムへのカキやホタテなどの水産物の輸出が始まっている。インバウンドの市場としても大いに期待しており、さまざまな取り組みを行いたい」と前向きに語った。

東北中央自動車道南陽高畠―山形上山インターチェンジ（IC）間が4月に開通し、宮城、山形、福島3県の県庁所在地が「環状高速道」で結ばれた。「インバウンドの観光周遊に寄与すると思うが、開通の効果は」との議員の質問に、知事は「バスやレンタカーを利用する外国人観光客の利便性が高まり、周遊ルートが広がる」と答弁した。

# 磯焼け対策強く要望

## 1次産業振興で質疑

1次産業に関しては、沿岸漁業の振興策や、県が9月定例会での提案を目指す県種子条例案についての質問があった。

ウニによる海藻の食害などが主因とされる磯焼け対策について、議員は「原因はさまざまある。各浜で状況が異なることもあり、十分な予算を確保して対策を講じるべきだ」と強く求めた。知事は「今後は有識者や漁業者、行政で、磯焼け対策会議（仮称）を設置し、効果的な磯焼け対策の手法を検討する」と述べた。

「県内の養殖業は大変厳しい状況にある。他業種へ転換するための漁業権の取り扱いを柔軟に対応するべきだ」との議員の提言に、知事は「養殖業の経営安定と早期の復興を図るため、免許期間内になるが養殖業の漁業権の変更に柔軟に対応したい」と語った。

仙台港でコンテナ貨物船から重油が流出した問題で、議員から「ノリの収穫時期までに漁業者が安心して操業できるよう努めてほしい」との要望があった。知事は「県漁協と連携して事故発生直後から周辺海域の海底調査を実施してきたが、2月以降は油分などは確認されていない。今後も調査を継続し、養殖業者が安心して生産を再開できるよう支援したい」と答えた。

県種子条例案に関しては「生産者の要望を反映させた条例案とするため、地域ごとで説明会を開催するなど、工夫して進めるべきだ」との議員の意見があった。

知事は「県内の種子生産者らが構成員となっている検討委員会など、さまざまな機会で意見を伺っている。今後もできる限り多くの方から意見を聞きたい」と述べた。

## 質問者と主な質問項目

○一般質問（16人）

▽**佐々木賢司**（自民）共生社会の実現について、県有施設・県有地の利活用策について▽**三浦一敏**（共産）知事の政治姿勢について、在宅被災者の現状と課題について、高過ぎる国保税の引き下げについて、女川原発の安全性と避難計画について、県立旭山自然公園について▽**仁田和廣**（自民）宮城の観光戦略について、油流出事故の対策について、河川改修状況について▽**守屋守武**（自民）深刻化する磯焼け対策について、宮城県のスポーツ振興について、宮城県の観光対策について、ひきこもり・不登校の対策について

▽**境恒春**（県民の声）気仙沼大島の整備について、障がい者の福祉就労について、AI・IoTを活用した未来型医療と介護の実現について、プレハブ仮設住宅における死亡者の実態について▽**安部孝**（自民）県政の課題と宮城県の将来展望について▽**庄田圭佑**（自民）みやぎ健民づくりについて、不登校・ひきこもり対策について▽**福島かずえ**（共産）実効性ある種子条例づくりと家族農業・小農など多様な農家への支援、児童虐待対策とその予防策の充実、収入超過世帯の割増し家賃解消を全ての災害公営住宅で、仙台港重油流出事故の検証報告書をつくり、教訓を明確に、情報を隠しながら進める水道事業「民営化」は、やめるべき

▽**遠藤隼人**（自民）安心、安全な県民生活について、我が県の人材確保について、我が県の観光振興について▽**伊藤和博**（公明）県民生活の安全安心について、認知症対策について、2020オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて▽**中山耕一**（自民）第3期県立高校将来構想について、人材確保のための外国人材受け入れに関する課題について、ベトナムにおける県産品の市場拡大について、富谷・黒川地域の道路等整備方針について▽**佐々木喜藏**（自民）北上川の名称について、サン・ファン・バウティスタ号への天皇皇后両陛下の行幸啓について、石巻・酒田道路の早期完成と石巻港港湾計画の改訂について

▽**渡辺忠悦**（無所属の会）農業・農村について▽**菊地恵一**（自民）地方創生という観点からの宮城県の諸課題への取り組みについて▽**畠山和純**（自民）復興まちづくりについて、みちのく潮風トレイル・宮城オルレの観光戦略について、森林業の振興について、水産業の振興について▽**坂下賢**（県民の声）復興の完遂について、交通安全対策について、雇用対策について、仙石線・仙石東北ラインの整備について、石巻圏域の諸課題について

＜会派名略称＞
自由民主党・県民会議＝（自民）、みやぎ県民の声＝（県民の声）、日本共産党宮城県会議員団＝（共産）、公明党県議団＝（公明）、無所属の会＝（無所属の会）

気仙沼大島大橋開通

# 亀山アクセス道早期整備に期待

道路整備や交通事故対策について、気仙沼大島大橋が4月に開通したことによる効果や島内の道路整備を求める質問があった。

議員の「開通による観光面の状況分析は」との質問に、知事は「大島への観光客数が、大型連休を含む開通後の1カ月間で昨年1年間を上回るなど、大きな効果があった」と強調した。

気仙沼大島大橋を含む県道大島浪板線（8キロ）の整備に関し、「事業全体の進捗状況は」との質問に、土木部長は「出来高ベースの進捗率は約84％。復興期間が終了する令和2年度までに全ての工事を終えたい」と答弁した。

大島の観光スポットとなる亀山山頂へ続く県道の拡幅工事を求める意見もあり、知事は「昨年度から幅員が狭小で見通しが悪い箇所の拡幅工事に着手している。今年12月の完成を予定しているが、可能な限り前倒ししたい」と意気込んだ。

仙台市が昨年に制定した「自転車の安全利用に関する条例」に関し、「県が条例を制定する要望がある。その必要性はどうか」との質問もあった。知事は「仙台市の条例制定後の状況や市町村の意向を勘案して、条例制定の検討を進める」と述べた。

## 常任委員会

今定例会での主な審査議案は次のとおり。

○総務企画委員会
**審査議案**　宮城県県税条例等の一部を改正する条例など10議案
○環境生活農林水産委員会
**審査議案**　県民会館条例の一部を改正する条例など５議案
○保健福祉委員会
**審査議案**　訴えの提起について（応急仮設住宅等の明渡しの請求に係る訴え）など５議案
○経済商工観光委員会
**審査議案**　産業技術総合センター条例の一部を改正する条例など４議案
○建設企業委員会
**審査議案**　工事委託契約の締結について（主要地方道築館登米線佐沼道路改築工事（その２））など12議案
○文教警察委員会
**審査議案**　県立学校条例の一部を改正する条例など４議案

## 大震災復興調査特別委員会

６月11日から12日にかけて、佐藤議長（当時）と大震災復興調査特別委員会は、復興庁を訪問し、震災からの復旧・復興対策や復興庁の後継組織などについて、渡辺復興大臣らに対し要望活動を行った。また、６月12日には、東京電力ホールディングス株式会社本社において、福島第一原子力発電所事故に起因する被害への迅速かつ十分な対応および原発事故の早期完全収束を求める要請を行った。

復興庁での要望活動

## 議長就任あいさつ

６月定例会閉会日の７月３日、相沢光哉議員が第43代議長に選任され、同日の記者会見で就任あいさつを行った。

相沢光哉議長

会見の初めに６月18日に発生した山形県沖を震源とする地震で被災された方々へのお見舞いの言葉を述べた相沢議長は「東日本大震災から８年と３カ月が経過し、国の『東日本大震災からの復興の基本方針』において10年間という期間を設定しているが、この復興期間が令和２年度までと間近に迫っている」とした上で「その中で、被災地の復興はまだまだ道半ばの状況であることから、県民の総力を結集していくことが不可欠であり、県議会としての役割は非常に大きいものがあると考えている。重責ではあるが、鋭意努力してまいりたい」と語った。

## 県議会からのお知らせ

●ラウンジコンサート
県議会では、年４回の定例会開会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由ですので、ぜひご来場ください。
◇次回コンサートの開催予定
・日時／９月３日（火）午後０時15分～45分
・場所／県議会庁舎１階ラウンジ
・出演／うりふたつ（オカリナ、ギター演奏）
◇コンサート出演者募集
・時期／令和元年11月、令和２年２月
・条件／無料出演（ピアノ以外の楽器は持ち込み）。演奏ジャンル、プロ、アマチュアなど資格は問いません。
・締切／８月16日（金）（必着）
・詳細はホームページをご覧ください。

●傍聴のご案内
本会議、各委員会は手続きの上、傍聴できます。
▽お問い合わせ先　宮城県議会事務局総務課　ＴＥＬ022(211)3571

●ホームページのご案内
定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。

宮城県議会　検索

●議会中継のご案内
スマートフォンやタブレット端末で議会中継をご覧いただけます。ＱＲコードのアクセスはこちらから


「みやぎ県議会だより」へのご意見・ご感想をお寄せください
宮城県議会事務局政務調査課
〒980－8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号
TEL022(211)3592　FAX022(211)3598
Ｅメール　gtyosas@pref.miyagi.lg.jp